

# ながのNIEだより

## 第19号

### 09年度実践事例発表会

## 小中高7校が報告

### 教員ら約50人が参加

長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会は5月29日、「2009年度実践事例発表会」を長野市南県町の信濃毎日新聞長野本社で開いた。昨年度の研究指定校のうち7校が、新聞を使った授業について報告した。



実践事例発表会では、生徒の作品も交えながら報告した

発表会には、県内の教員や新聞関係者ら約50人が出席した。

発表のうちに、塩尻市の洗馬小学校は、1～6年生で新聞を使った授業を展開。5年生は、環境についての新聞記事を集めて理解を深め、環境新聞を作った。3年生は、気に入った記事をスクラップし、クラスで発表した。伊那市の長谷中学校は、3年生社会科の「人権と共生社会」の単元で、高齢者、障害者、刑を終えて出所した人に関する記事を集め、模造紙に張って発表した。

下伊那郡阿南町の富草

## 指定校実践のまとめ(2～4面)

小学校は、2～4年生が新聞を使って国語の授業を行った。4年生は、教

発行  
長野県NIE推進協議会

事務局  
〒380-8546  
長野市南県町657  
信毎読者センター内

TEL 026-236-3215  
FAX 026-236-3096

協議会ホームページ

<http://www2.shinagijournal.nie/>

# 教育に新聞を



Newspaper in Education

### 県NIE推進協議会総会

## 本年度指定校を承認

### 新たに県の独自枠

長野県NIE推進協議会は5月29日、長野市の信濃毎日新聞長野本社で本年度の総会を開いた。佐久市岩村田小学校や安曇野市三郷小学校、長野市犀陵中学校、伊那市高遠中学校、下高井郡山ノ内町山ノ内中学校など11校を、本年度のNIE研究指定校にすることを決めた。

また、これまでの研究指定校から「2年間の指定期間終了後、新聞購読費を確保できず、NIE研究が進められない」との意見があった。このため、新聞販売店の団体が行っている「すべての教室へ新聞を」運動を本年度から活用し、研究指定校を終えた学校に、複数の新聞を無料で届けることも決めた。

### 2010長野県NIE研究指定校

|          | 学校名        |
|----------|------------|
| 本年度1年目   | 佐久市岩村田小学校  |
|          | 安曇野市三郷小学校  |
|          | 長野市犀陵中学校   |
|          | 伊那市高遠中学校   |
|          | 山ノ内町山ノ内中学校 |
| 本年度2年目以降 | 上田市長小学校    |
|          | 阿南町富草小学校   |
|          | 長野市東部中学校   |
|          | 松川村松川中学校   |
|          | 富士見町富士見中学校 |
|          | 下諏訪向陽高校    |

NIE実践指定校はこれまで、日本新聞教育文化財団が新聞購読費を助成する学校に限られていた。昨年のNIE全国大会長野大会を機に、NIEをさらに広げるため、

# 小学校

長野市吉田小学校 (継)

## ねらいに迫る教材

NIE全国大会長野大会で、5年国語と6年社会を授業公開した。国語では、2008年度から行っている「よしだアートプロジェクト」を、校内や近隣の人々に伝えるために作っている新聞の見出しを決める場面だった。社会は裁判員裁判の記事を使い「裁判所の働き」を考えた。両方とも「新聞を教科のねらいに近づくための有効な素材として取り上げ、教材化して活用する」との学校教育計画に基づいて行われた。

塩尻市洗馬小学校 (継)

## 視野広げるために

子どもたちが将来的に新聞に親しみをもち、自分なりの視野



を広げるためのアイテム、情報収集の手段として活用できる方を求め、実践した。5年社会では「環境新聞にしまとめよう」など、教科等のねらいに即して追求した。3年は「総合」で新聞の連載記事を使って学び、おそろ学級では漫画を活用したスキルを取り入れるなど、学校教育活動全体で新聞を活用した。今後、新聞作りにも挑戦する予定だ。

【洗馬小】環境にしているのスクラップ新聞を見せ合う児童たち

## 長野大会テーマが息づいて

長野県NIE推進協議会

江沢 啓二 コーディネーター



2009年度指定校の実践の豊かさを実感しています。子どもたちが喜々と新聞に触れている姿が見えるから、使った人が確かな手応えを感じています。

えを感じていて、どの学校も学年や教科に広がりつつあることが分かるからです。昨夏の全国大会長野大会のテーマ「分かるつながる 広がる」が息づいています。

上田市長小学校 (新)

## 無理なく、気軽に

児童の言語力を向上させ、社会的対象に対する興味関心を広



め、情報を取捨選択する力をつけることなどをねらいとして実践。「無理なく、できることから、気軽に」を合言葉に進めた。2年国語では、生徒が新聞の写真を手がかりに、自分が伝えたい内容を簡単にまとめて書く力を求めた。5年総合では、新聞紙面から「光っている人」を見つけ、生き方や考え方を学んだ。校内の先生たちに新聞活用が広がりつつある。

【長小】新聞に掲載された写真を友達に紹介する国語の授業を行った

## 思考判断力 高める

阿南町富草小学校 (新)

総合的に思考判断する力やコミュニケーション力の高まりを求めた。2年国語では、カタカナで書く力をつける工夫をした。3年国語で、新聞に掲載された写真を使い、自分の考えを相手に分かりやすく伝える方法を学んだ。4年国語では、長野見学を題材にして、「相手に分かりやすく伝えるための新聞づくり」

に挑戦。記事の書き方、写真の使い方、相手に分かる言葉遣いなどを学んだ。新聞を読む側に立った新聞づくりを意識できた。

# 09指定校の実践を紹介

★学校名下の表記について

(新) ……研究指定校1年目

(継) ……研究指定校2年目以降



【富草小】「子どもたちがもちつき」という記事にふさわしい写真はどちらかを考え合った

# 中学校

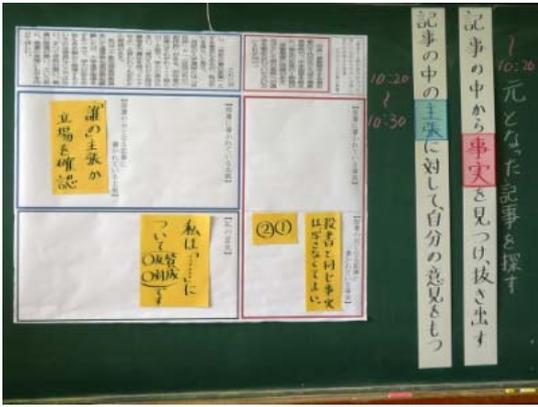
## 長野市東部中学校(継)

### 視野を広げる活用

長野大会では、2年社会と3年「総合」で授業を公開。社会では江戸時代の元禄・化政文化と現在を新聞でつなげた。記事や広告を切り取って江戸文化を調べ、意見を交換して、現在とのつながりを考えた。3年「総

## 富士見町富士見高原中学校(新)

3年「総合」で、自分の学校の閉校という節目に出会った生



合」ではアイサービス施設での体験を新聞にまとめた。新聞づくりから、体験した現状や課題・意見などをどうまとめ、どう発信するかを学んだ。新聞は、生徒が社会に視野を広げるのに役立つと実感できた。

## 上田市普平中学校(継)

### 追究の道筋を探る

長野大会の実践発表校。新聞記事を手がかりに、学ぶきっかけや追究の道筋を探った。ノーベル化学賞を受賞した下村脩博士の業績を記事で知った後、筑

徒たちが、学校が歩んだ歴史や自分が感じている思いを、将来に残すことを目的に新聞作りをした。取材、記事執筆、レイアウトなどを学び、新聞は閉校式典で発表した。

2年「国語」では、意見文を書く場面で新聞記事を活用した。事実と主張を区別しながら、伝えたいことをどう表せばよいかについて考えた。二つの授業とも、伝える中身の確にキャッチすることの大切さを学んだ。

【富士見高原中】公開した2年国語の授業。事実と主張を確認するワークシートを使った

波大学普平高原実験センターの協力で、実験を通して下村博士の研究を理解した。記事とともに地域の施設を活用し、科学的な視野を広める工夫をした。また、自分の言葉で分かりやすく伝えることを目的に、新聞のコラムを教材として、読み解きと文章作りの学習を重ねた。

## 松川村松川中学校(新)

### 親しむ習慣つくる

新聞に親しむ習慣をつくること、さまざまな時事問題に対して自分なりの考えを持つこと、読解力を向上させることを願った実践。生活ノートへの意見記録の継続、学級通信で生徒の意見を紹介する活動などにより、生徒や家庭の意識の高揚を図った。教科等では国語、社会、道徳、「総合」などで活用した。

2年「総合」では、地域への発信を目的に環境新聞を作った。完成した新聞を村公民館に展示し、中学生の考えを村民に伝え、新聞の意味を学

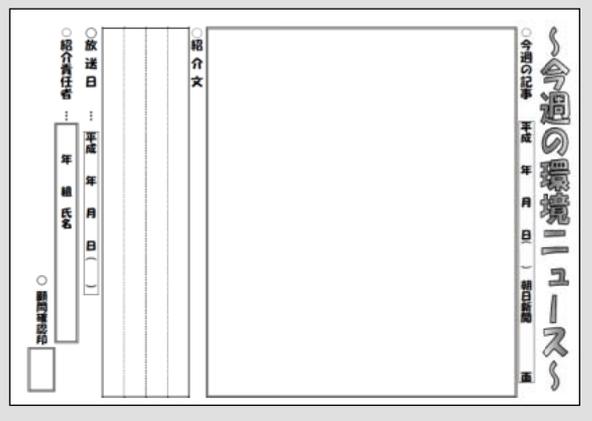
## 伊那市長谷中学校(継)

### 発見、活用力を向上

新聞とのかかわりから、生徒の問題発見力、情報活用力、



んだ。



【松川中】「スポーツ」「経済」「環境」をテーマに今週のニュースをまとめるスクラップ用紙。各担当委員会が記事を切り抜き、昼の放送で紹介した

調査探求力などの向上を求めた。校内に新聞8紙の閲覧コーナーを設け、スクラップ作品づくりやHAPPY NEWSの応募などを重ねた。

新聞を使った人権教育(社会)の授業を公開した。人権侵害と思われる記事を探して分類。スクラップ新聞に整理し、これからの人権のあり方を考えた。新聞を読み続けてきた経験を生かし、手際よく新聞記事を選び、整理できた。

【長谷中】人権問題についてスクラップ作品にまとめ、発表する生徒たち

## 09実践報告書、差し上げます。

2009年度の指定校による実践をまとめた「報告書」を差し上げます。本号に掲載した実践の詳細などが載っています。各学校にお配りしてありますが、ご希望の方は、長野県NIE推進協議会(電話026-236-3215)へお申し込みください。無料です。

# 高校

長野南高校(継)

## リテラシー高める

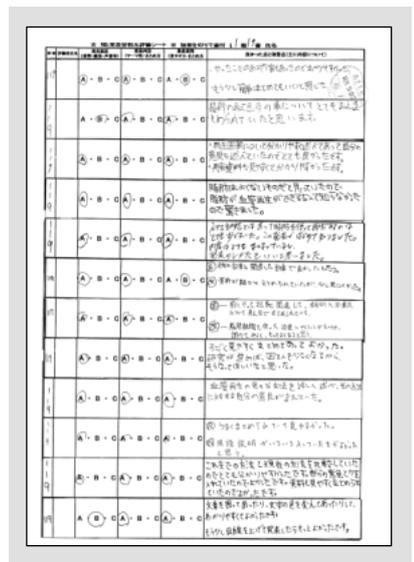
長野大会では、「科学的リテラシー」を高める一助としての新聞活用のあるり方を公開授業で示した。

3年「生物II」で、医療や食環境についての新聞記事を生徒が選び、要約、感想・意見を書

## 下諏訪向陽高校(新)

## 図書館との連動で

「新聞記事は、国や地域の政治について考えるきっかけにな



【長野南高】発表会の相互評価用紙。短冊状に切り分けて、発表者に渡し、自分の評価シートを作った

いて発表した。4年間のNIE指定校の集大成。記事を読んで要約を書くことで、「科学に興味を持つきっかけづくり」や

り、現実の政治を理解するための生きた教材」と考えて、「現代社会」で新聞を取り入れた。

図書館に新聞を置く、図書館で資料調べをする、司書に資料選

びや解説を依頼するなどの学習を重ねた。「衆院選のマニフェストを学習して模擬投票を実施」「記事から人権侵害の現実をとらえて憲法の基本的人権を学ぶ」など授業を公開。生徒の意欲的な学習態度を引き出した。

【下諏訪向陽高】衆院選の模擬投票。記事で政策など確認し、投票所には臨場感を出した

## エクセラン高校(継)

## 環境問題 流れ知る

長野大会で実践を発表した。

普通科園芸コースの履修科目「環境科学」での新聞活用状況

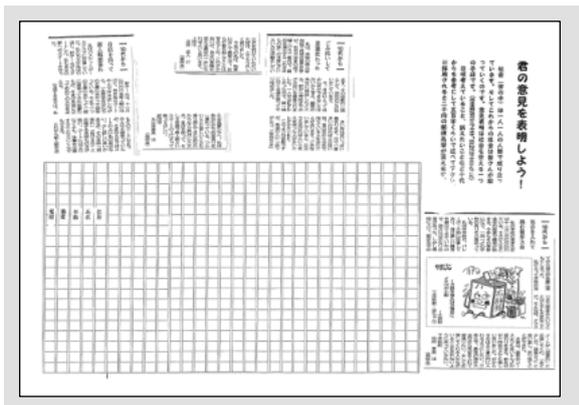


「意見をまとめるために資料をさらに調べて確かめる」などの新聞活用の本質的意義を学んだ。

## 長野俊英高校(継) マツシロ調べ投稿

長野大会の実践発表校。レポートと生徒の発表を通し、

実践した内容を詳細に紹介した。①各教科等の新聞活用の様子②生徒や職員による新聞への活発な投稿③郷土研究班の松代大本営象山地下壕跡の調査研究と、各新聞に掲載された記事に生かされて調査研究を進めている現状などを報告。新聞は読者の意見を伝える大事なツールであること、



【長野俊英高】生徒に配布した投稿用の原稿用紙には、先輩の投稿文も載っている

と成果を詳しく紹介。大会発表以降は、新聞に掲載された環境問題を分類し、その特徴をつかむ学習を続けた。記事からキーワードを絞る、分類する、掲載面から問題の特徴を洗い出す、まとめをする一などの方法で進めた。特に197

【エクセラン高】年表に並べ環境問題のキーワード。現在は水色、1971年ごろはピンクの紙に書いた

1年度と現在の記事の比較から「今の環境問題は過去からのつけ」環境の悪化を放置すると将来に禍根を残すことを明らかにすることができた。

記事を批判的に読み取る能力が必要なことなどの意識が、生徒に育ちつつあると発表した。

### 長野県NIE研究会

### 会員募集中!

長野県 NIE 推進協議会  
事務局 026-236-3215